

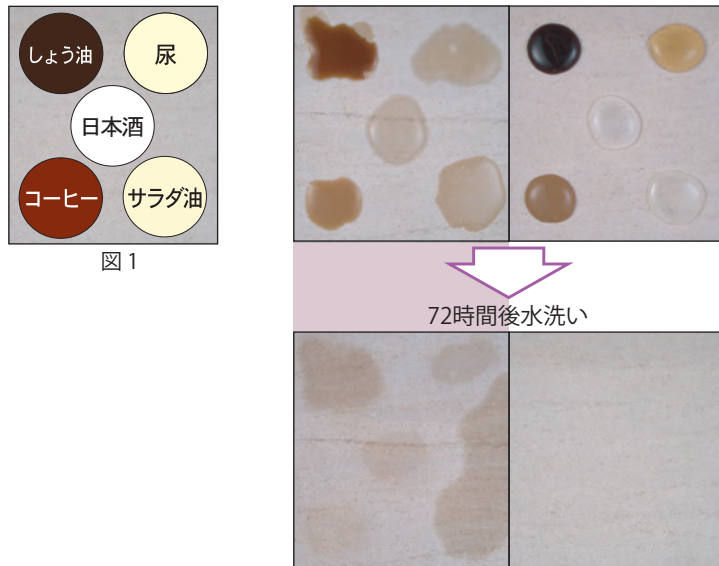
多孔質石材用浸透性保護剤・防汚剤

クレストーン

防汚性試験

ライムストーンにクレストーンを塗布したものと無塗布のものに、図1のようにしょう油・尿・日本酒・コーヒー・サラダ油を滴下し、72時間後水洗いをした。クレストーンを塗布したライムストーン表面にはシミが残っていないのを検証した。

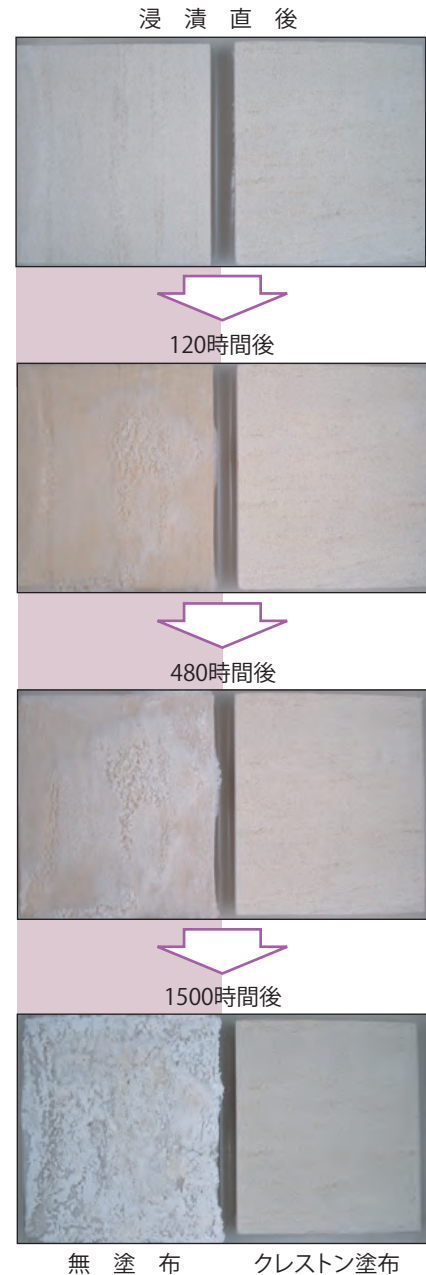
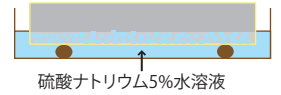
※クレストーンを2回塗布後、72時間常温(20℃)で養生乾燥したものを使用。



エフロ抑制効果

ライムストーンにクレストーンを塗布したもの(右)と無塗布のもの(左)とを硫酸ナトリウム5%水溶液に右図のように浸漬しエフロ抑制効果を検証した。

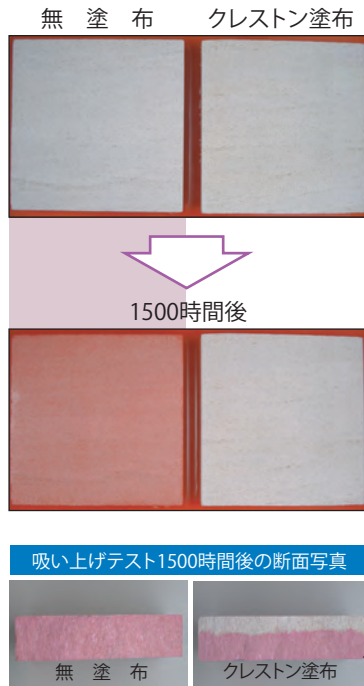
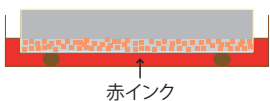
※クレストーンを2回塗布後、72時間常温(20℃)で養生乾燥したものを使用。



吸い上げ抑制効果

ライムストーンにクレストーンを塗布したもの(右)と無塗布のもの(左)とを赤インクに下図のように浸漬し吸い上げ抑制効果を検証した。

※クレストーンを2回塗布後、72時間常温(20℃)で養生乾燥したものを使用。



無塗布の石材は吸い上げテスト開始から約5時間で表面が赤く染まったのに対して、クレストーンを塗布した石材は、石材の断面を見ると吸い上げテスト1500時間経過後も、半分くらいのところで赤インクが止まって、吸い上げ抑制効果が検証できた。

多孔質石材用浸透性保護剤・防汚剤

クレストン

特長

- クレストンを塗布すると、基材内部に浸透して優れた撥油性と撥水性を持った保護層を形成し汚れの浸透を抑制するため、汚れにくく、また汚れても比較的容易に除去出来るのでメンテナンスの負担を軽減します。
- 石材の吸水率を著しく低下させ裏面からの水分・不純物の吸い上げを抑制し、凍結によるヒビ割れ・劣化・風化を抑制します。
- 石材の風化・劣化・エフロッセンス（白華）を抑制し長期にわたり保護します。
(既に出ているエフロは完全に止めることはできません。)

用途

- ライムストーン・砂岩・大谷石・十和田石・諫早石・琉球石灰岩・レンガ・コンクリート・ブロック・セメント二次製品・テラコッタイル他吸水性の高いタイル等多孔質石材の保護及び汚れの抑制。
- エフロの石材表面発生や裏面からの水分・汚れの吸い上げの抑制。撥水・撥油効果による石材表面からの汚れの侵入の抑制。

使用方法

- 1 施工面に汚れ・ゴミ・ホコリ・油分・ワックス等が付いているとクレストンの密着・浸透が悪くなりますので、十分に洗浄除去し乾燥させてください。よく乾かないうちに塗布すると密着不良・変色・ムラ・白化等の原因となります。
- 2 施工しない箇所や周辺基材を養生してください。
- 3 クレストンを耐溶剤用容器に入れ、不織布・ローラー・ミヤキモップ・ハンディーコーター等で基材全体に塗りムラがないように塗布します。
(標準：2回塗り)
1回塗布後、夏場約2～5分、冬場約5～10分たってから2回目の塗布作業をしてください。(1回目の塗布後、極端に時間を置きすぎると2回目も十分に浸透しません。)
- 4 塗布作業中に液だまりができた時は速やかに拭き上げてください。液だまりを放置すると色ムラの原因となります。また石種によっては仕上がり面に濃淡が出る場合があります。
- 5 鏡面仕上げの石材に塗布するときは、塗布後乾燥前に塗布前の光沢に戻るまで必ず乾拭きをしてください。乾拭きが不十分だとムラになります。また凹凸のある石材では吸い込みムラによる色ムラが出る場合がありますので、十分に乾拭きをしてください。
- 6 乾拭き後4～5時間は乾燥養生のため歩行しないでください。溶剤臭は換気条件が良ければ半日程度で臭わなくなります。

標準塗布量 5～15㎡/ℓ (2回塗り)

※ 塗布量は基材によって多少異なります。

塗布後のメンテナンス

- 1 日常管理の清掃は水拭きしてください。
- 2 水拭きで除去出来ない汚れや、定期的な清掃には弊社商品石材用洗浄剤『アクロンAB』又は『インクリン』で洗浄してください。
- 3 保護効果維持のために床面は1～2年、壁面は5～8年毎のリコートをお勧めいたします。

使用上の注意

- 揮発性の溶剤で、蒸気を吸引すると中毒を起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守ってください。
- 1 クレストンは引火性の物質です。施工要領書、使用上の注意及びSDSをよく読み、作業する時は換気を良くして火気には充分注意してください。
 - 2 エアレス・スプレー・噴霧器等で絶対に施工しないでください。
 - 3 ご使用前に貴社使用条件及び目的に適合するか、充分検討の上ご採用ください。基材や施工条件によってシミ・ムラ等が発生する場合がありますので、本施工前に必ずテストを行い基材及び周辺基材への影響をご確認ください。
 - 4 クレストンは原液のままお使いください。水や異物が混入すると使用できなくなりますのでご注意ください。
 - 5 施工時の適切な環境は、気温及び基材温度が15～30℃かつ、湿度が50～75%です。施工時に上記の条件を満たさない場合は、環境を改善してください。
※ 適切な施工条件を満たさない場合は白化・ムラ・密着不良・乾燥不十分によるベタつきが起こる可能性があります。
 - 6 溶剤が蒸発してしまうと反応固着が終わりません。気温によって多少異なりますが、3日～5日で完全硬化します。
 - 7 塗布後24時間は、水がかからないようにしてください。
 - 8 作業に使用した機材、容器等は溶剤・シンナー等で洗浄してください。
 - 9 芝・植木・池等の近くで作業するときは必ず養生の上で使用ください。
 - 10 作業をするときは換気をよくし、必要に応じて局所排気設備のある所で作業してください。
 - 11 必ず適切な保護具（保護マスク・保護メガネ・不浸透性の保護手袋・保護衣・長靴等）をお使いください。
 - 12 口や目に入ったときは、速やかに充分な水洗いをし、医師にご相談ください。
 - 13 手や皮膚・衣類についたときは、速やかに充分な水洗いをしてください。異常のある場合は医師の診察を受けてください。
 - 14 子供の手の届かない冷暗所に密栓して保管してください。運搬目的以外での車内保管や別の容器に移しかえての保管はしないでください。
 - 15 容器から出すときは、こぼさないように注意してください。一度別の容器等に移した液はもとの容器に戻さないでください。開封後はなるべく早くご使用ください。
 - 16 作業の際には、飲食・喫煙等は絶対に行わないでください。
 - 17 取り扱い後は手洗いを充分行ってください。
 - 18 用途以外には使わないでください。
 - 19 施工に専門知識・技術を要するため、業務用として販売しています。一般の方はご使用をお控えください。

※ 作業者及び第三者の安全確保のために必ず適切な措置をとってください。

※ 排水・臭い・揮発性・植物等の環境への影響について事前確認の上、必ず適切な措置をとってください。

● 製品改良のため、より適切に使用していただくため、予告なく内容を変更する場合があります。

● クレストンは、社団法人日本塗料工業会のホルムアルデヒド規制（F☆☆☆☆）登録商品です。

性状

外 観	無色透明～淡黄色透明	取り扱い	火気厳禁
成 分	フッ素とシリコンの混合体	貯蔵性	1年（5～30℃未開封状態で保管）
溶 剤	第4類 第一石油類 危険等級II	※食品衛生法・食品添加物の規格基準に適合	

■ 施工例



そごう横浜店 10階 ダイニングパーク横浜

業務用

40・160



(社)日本塗料工業会登録	
登録番号	M12016
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.toryo.or.jp

施工要領書

製品名	多孔質石材用浸透性保護剤・防汚剤 クレストン
特 長	
<p>■クレストンを塗布すると、基材内部に浸透して優れた撥油性と撥水性を持った保護層を形成し汚れの浸透を抑制するため、汚れにくく、また汚れても比較的容易に除去出来るのでメンテナンスの負担を軽減します。</p> <p>■石材の吸水率を著しく低下させ裏面からの水分・不純物の吸い上げを抑制し、凍結によるヒビ割れ・劣化・風化を抑制します。</p> <p>■石材の風化・劣化・エフロレッセンス(白華)を抑制し長期にわたり保護します。 (既に出ているエフロは完全に止めることはできません。)</p>	
用 途	
<p>■ライムストーン・砂岩・大谷石・十和田石・諫早石・琉球石灰岩・レンガ・コンクリート・ブロック・セメント二次製品・テラコッタタイル他吸水性の高いタイル等多孔質石材の保護及び汚れの抑制。</p> <p>■エフロの石材表面発生や裏面からの水分・汚れの吸い上げの抑制。 撥水・撥油効果による石材表面からの汚れの侵入の抑制。</p>	
使 用 方 法	
<p>①施工面に汚れ・ゴミ・ホコリ・油分・ワックス等が付いているとクレストンの密着・浸透が悪くなりますので、充分に洗浄除去し乾燥させてください。よく乾かないうちに塗布すると密着不良・変色・ムラ・白化等の原因となります。</p> <p>②施工しない箇所や周辺基材を養生してください。</p> <p>③クレストンを耐溶剤用容器に入れ、不織布・ローラー・ミヤキモップ・ハンディーコーター等で基材全体に塗りムラがないように塗布します。(標準:2回塗り) 1回塗布後、夏場約2~5分、冬場約5~10分たってから2回目の塗布作業をしてください。 (1回目の塗布後、極端に時間を置きすぎると2回目が充分に浸透しません。)</p> <p>④塗布作業中に液だまりができた時は速やかに拭き上げてください。液だまりを放置すると色ムラの原因となります。また石種によっては仕上がり面に濃淡が出る場合があります。</p> <p>⑤鏡面仕上げの石材に塗布するときは、塗布後乾燥前に塗布前の光沢に戻るまで必ず乾拭きをしてください。乾拭きが不十分だとムラになります。また凹凸のある石材では吸い込みムラによる色ムラが出る場合がありますので、充分に乾拭きをしてください。</p> <p>⑥乾拭き後4~5時間は乾燥養生のため歩行しないでください。溶剤臭は換気条件が良ければ半日程で臭わなくなります。</p>	
標準塗布量(2回塗り)	5~15㎡/ℓ(66~200ml/㎡) ※塗布量は基材によって多少異なります。
使用上の注意	
<p>揮発性の溶剤で、蒸気を吸引すると中毒を起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守ってください。</p> <p>①クレストンは引火性の物質です。施工要領書、使用上の注意及びSDSをよく読み、作業する時は換気を良くして火気には充分注意してください。</p> <p>②エアレス・スプレー・噴霧器等で絶対に施工しないでください。</p> <p>③ご使用前に貴社使用条件及び目的に適合するか、充分検討の上ご採用ください。基材や施工条件によってシミ・ムラ等が発生する場合がありますので、本施工前に必ずテストを行い基材及び周辺基材への影響をご確認ください。</p> <p>④クレストンは原液のままお使いください。水や異物が混入すると使用できなくなりますのでご注意ください。</p> <p>⑤施工時の適切な環境は、気温及び基材温度が15~30℃かつ、湿度が50~75%です。 施工時に上記の条件を満たさない場合は、環境を改善してください。 ※適切な施工条件を満たさない場合は白化・ムラ・密着不良・乾燥不十分によるベタつきが起こる可能性があります。</p> <p>⑥溶剤が蒸発してしまうと反応固着が終わります。気温によって多少異なりますが、3日~5日で完全硬化します。</p> <p>⑦塗布後24時間は、水がかからないようにしてください。</p> <p>⑧作業に使用した機材、容器等は溶剤・シンナー等で洗浄してください。</p> <p>⑨芝・植木・池等の近くで作業するときは必ず養生の上ご使用ください。</p> <p>⑩作業をするときは換気をよくし、必要に応じて局所排気設備のある所で作業してください。</p> <p>⑪必ず適切な保護具(保護マスク・保護メガネ・不浸透性の保護手袋・保護衣・長靴等)をお使いください。</p> <p>⑫口や目に入ったときは、速やかに十分な水洗いをし、医師にご相談ください。</p> <p>⑬手や皮膚・衣類についたときは、速やかに十分な水洗いをしてください。異常のある場合は医師の診察を受けてください。</p> <p>⑭子供の手の届かない冷暗所に密栓して保管してください。運搬目的以外での車内保管や別の容器に移しかえての保管はしないでください。</p> <p>⑮容器から出すときは、こぼさないように注意してください。一度別の容器等に移した液はもとの容器に戻さないでください。開封後はなるべく早くご使用ください。</p>	

- ⑯作業の際には、飲食・喫煙等は絶対に行わないでください。
- ⑰取り扱い後は手洗いを充分行ってください。
- ⑱用途以外には使わないでください。
- ⑲施工に専門知識・技術を要するため、業務用として販売しています。一般の方はご使用をお控えください。

※作業者及び第三者の安全確保のために必ず適切な措置をとってください。
 ※排水・臭い・揮発ミスト・植物等の環境への影響について事前確認の上、必ず適切な措置をとってください。
 ●製品改良のため、より適切に使用していただくため、予告なく内容を変更する場合があります。
 ●クレストンは、社団法人日本塗料工業会のホルムアルデヒド規制(F☆☆☆☆)登録商品です。

塗布後のメンテナンス

- ①日常管理の清掃は水拭きしてください。
- ②水拭きで除去出来ない汚れや、定期的な清掃には弊社商品石材用洗剤『アクロン AB』又は『イシクリン』で洗ってください。
- ③保護効果維持のために床面は1～2年、壁面は5～8年毎のリコートをお勧めいたします。

性 状

外 観	無色透明～淡黄色透明	取り扱い	火気厳禁
成 分	フッ素とシリコーンの混合体	貯蔵性	1年(5～30℃未開封状態で保管)
溶 剤	第4類第一石油類 危険等級Ⅱ	※食品衛生法・食品、添加物等の規格基準に適合	